

豊かなコミュニケーションで子ども・若者を支える

『子ども・若者の居場所づくりガイド・対話編』発行

本会では、政策提言活動から挙げられた「貧困の連鎖の防止」、生活福祉資金「教育支援資金貸付」の相談・申請の急増、社会的養護のもとで育った子どもの自立が困難な現状から、子ども・若者の自立と育ちを支えることを地域の福祉課題として捉え、平成28年度より(特非)よこはま地域福祉研究センター、(福)県共同募金会と協働し「子ども・若者の育ちと自立を支える協働事業」に取り組んでいます。

また、ひとり親家庭の子どもが夜間に安心して過ごせる居場所づくりの普及・推進を目指す県の「子ども・青少年の居場所づくり推進事業」を受託し、両事業を連動させ、課題や取り組みを共有する冊子の発行、実践者が出会うフォーラムの開催を行っています。

今回、県委託事業により発行した『子ども・若者の居場所づくりガイド・対話編』は、平成28年度発行の同ガイド『導入編』と、それを基とする『子ども・若者の居場所づくり事例集2017』で得た「子どもたちがいきいき過ごす

居場所には、担い手自身が豊かな対話、つながりを持つている」という気付きから、居場所の運営に必要な要素として「対話」を掲げて作成しました。

今日子ども・若者および子育て家庭を取り巻く地域でのコミュニケーションの希薄さを示すデータから読む居場所の必要性、先を行く実践者が語る対話のあり方、去る2月に開催した「子ども・若者居場所づくりフォーラム」(本紙796号に関連記事掲載)の概要等、各コンテンツから居場所における対話の必要性を伝えています。取り組みを始めた、または実際に活動している方々の参考にしていただきたいと思えます。

(企画調整・情報提供担当)



ガイド、事例集は本会ホームページより閲覧できます
<http://www.knsy.jp/s/shiru/seisyounen.html>

「タイヤを換えて世の中変えまひょう!!」

新たな寄附活動にご協力ください

タイヤフェスタ(株)と県社会福祉協議会(以下、県社協)、県共同募金会(以下、県共募)の三者協働の寄附活動「タイヤを換えて世の中変えまひょう!!」が平成30年4月からスタートしました。

大和市にあるタイヤフェスタ(株)は、タイヤ交換サービスの専門店です。インターネットで購入したタイヤを店舗に直送し、予約日に車を持ち込むと、30分程でタイヤ交換ができます。費用は市場の相場価格の6、8割程度で済むため、創業3年弱で利用台数は7千台を超えました。



代表取締役の安西隆さんは「自身がガソリンスタンドでタイヤの消耗によるリスクを指摘された経験から発想を得て起業しました。社会への貢献は当社の精神であり、当社の仕組みはお客様の経費節減につながることでPRポイント。さらに福祉関係者の方々がご利用くださる場合は、当社から福祉活動支援へ寄附させていただきます」と話します。

具体的なお客様は、県社協・県共募の関係者(団体でも個人でも可)が、チラシ持参や「ホームページを見た」と言って予約すると、利用1台につき、タイヤフェスタ(株)が100円を社会福祉協議会事業のために寄附し、さらに基本工賃から5%の割引を行います。福祉施設・団体の車両のほか、従事者等のマイカーも対象です。福祉分野は車を使用する機会も多くあります。お得かつ福祉分野の充実につながるこのプロジェクトにぜひご協力をお願いします。詳細は県社協または県共募のホームページをご覧ください。

(総務担当)



タイヤフェスタ(株)
 大和市深見西2-3-26
 ☎046-244-3500
<http://tirefesta.com>

